

るサトウキビに、一定の基準を満たした生産者や受託組織に新たな仕組みで助成する制度(交付金制度)ですが、制度の受け皿として全農家で構成する「さとうきび部会」が設立され、全てのサトウキビ農家が対象となり、事務手続きや交付金の支払い時期等もJA等関係機関の支援で大きな混乱もなく進められました。

しかし、この経過事例も前年度から新たな要件で実施され、農家の減少や高齢化への対応等、並びに小規模・零細農家が多い現状に鑑み、今後は集落営農の組織化に向けた取り組み、農作業受託組織の強化、農地集積の推進、認定農業者の増加等に取り組む予定であり、それに伴う関係職員や育成・確保も必要かと思われる。現段階で受委託作業の拡大が実施され、結果的には従前通り全耕作農家が交付金の対象となりましたが、この制度に変わる新たな「戸別所得補償制度」が前年度から創設され、本年度から畑作の特定作物にも拡大されますが、サトウキビについては当面の期間は現行制度で対応されるものと思われ。

#### ④町民の健康増進並びに医療・福祉体制の充実

これまでにも増して高齢化や生活様式の変化による疾病構造の変化により、国民医療費が年々増すと共に、平成

12年度にスタートした介護保険制度や平成20年度からの「後期高齢者医療保険制度」及び「特定検診・特定保健指導」の実施等、保健・医療・福祉を取り巻く環境は大きく変ばりました。

また、近年の新型インフルエンザの流行が猛威をふるい、町民生活に大きな影響を及ぼしましたが、感染症対策への取り組みも重要な課題となりました。町民の健康増進への関心の高まりやその重要性が増大しており、健康づくりや疾病予防を積極的に推進するための環境整備が要請されていますので、引き続き関係者の研修や集落での説明を行い、制度の周知徹底を図ると共に今後も制度の円滑な推進を図るために組織体制の充実や所要財源の確保に努めながら、

町民の健康増進と医療・福祉・福祉制度の長期的安定に向け取り組みます。また、少子化・高齢化対策においては、国や県の諸施策と相まって、地域の実情に配慮したきめ細かな施策に取り組みます。主な施策は妊婦健診無料化の拡大、各種予防接種の無料化の継続、介護保険事業第4期計画の推進等です。

こうした観点から、本年度は「子育て支援」を拡充し、地元で子どもを産み・育てる環境づくりへの取り組みによる産科医師の確保対策や、従来の「乳幼児医療費助成」事業を「子ども医療費助成」事業に変更すると共

に、対象を「就学前」を「小学校卒業」までに拡大することとしました。そのほか、国では後期高齢者医療制度の全面的な見直しと関連して、国民健康保険制度の広域化の検討も行われており、県では地域医療再行基金を活用した医師不足対策やドクターヘリの導入による緊急医療体制の充実等に取り組む予定であります。

以上主要な四つの大きな課題があげられますが、これらの事務事業の円滑な執行が図られるよう万全の体制で臨むと共に、国並びに県・関係機関とも緊密な連携を図りながら、「花ひらく」の名のテーマである、「花ひらく・夢ひらく町」へ向け、豊かで、明るく・住みよい町づくりを努めます。

### 3 むすび

本年度の一般会計予算案は前年度とはほぼ同額の5,084,500千円と定め、各特別会計についても所要額を計上いたし、厳し中でも、費用対効果の観点から事業の必要性並びに緊急度等を勘案しながら、事業内容や積算等において十分精査し、併せて平成22年度の補正予算による交付金等と連動しながら町の活性化に向け積極的な予算編成に努めました。

#### 具体的な施策について

1. 豊かな町づくり…産業の振興

① 基幹作物のサトウキビを中心

② ①の集積による規模拡大農家の育成⑤ 産振事業での「営農用ハウスの確保」⑥ 新規就農支援システム⑦ 地域資源を活かした特産品の開発⑧ 6次産業化対策の検討⑨ 商店街の活性化と商工会の育成強化⑩ 緊急雇用創出事業」及び「ふるさと雇用再生特別基金」事業の活用

2. 幸せな町づくり…福祉の向上

① 少子・高齢化社会に対応した各種福祉対策の推進② 高齢者の生きがい及び健康づくり対策の推進③ 新しい介護保険制度の円滑な運営とサービスの充実④ 保健・医療・福祉の連携による町民の健康増進対策⑤ 消防施設設備の整備推進⑥ 障害者福祉対策の充実⑦ 青少年社会における保育所運営の在り方の検討⑧ あまみ長寿・子宝プロジェクト事業との連携

3. 人づくりは町づくり…教育の充実(教育委員会と連携しながら)

① 地域に開かれた学校の機能を備えた校舎の整備② 学力向上の推進と生徒指導の充実③ 少子化社会における幼稚園の在り

④ 教育(文化一元化等の検討)

⑤ 各種施策の推進⑥ 郷土の伝統芸能と文化の継承(地域博物館構想の推進)⑦ スポーツ活動の推進による地域の活性化

4. 住みよい町づくり…生活環境の整備

① 住吉地区農業集落排水事業の推進② 合併処理浄化槽設置の推進③ 公共下水道事業の継続促進、田舎及び下平川地区の農業集落施設を含めた加入(接続)率の促進④ 国営事業に伴う上水道代替水源施設の供用開始⑤ 廃棄物処理施設の整備充実とリサイクル社会の建設⑥ 交通(道路)・通信体系の拡充⑦ 大山の森林機能の保全対策⑧ 防災対策の強化⑨ 知名漁港高潮対策事業⑩ 沖水良部バス企業団の経営改善対策、バス路線の見直し

5. 元気があつくり…財政政策の強化

① 新設権下における「補助金から交付金化」仕組みへの対応② 財政の健全化に向けた行財政改革の推進③ 自主財源の確保④ 「ふるさと寄附(納税)」によるふるさとまわりの基金の活用(再掲)⑤ 定住人口並びに流入人口の増加対策⑥ 既存の公共施設再整備の基本計画の策定⑦ 新規⑦ 町知名町振興開発公社の公益法人改革への対応